

科目名	経営組織 A Organization Theory A		選択	2 単位
学期・曜日・時限	秋・月・4 限	秋・月・5 限	-	-
担当教員名	平松 庸一			
<p><講義の概要と目的></p> <p>現代は組織の時代と言われています。私たちが生活を十全に営もうとすればするほど、組織に対する理解が必須となっています。現代社会の到るところに組織があり、そこから生み出されるモノやサービスを通じて私たちの生活は営まれています。本講義では、現代的文脈（技術の高度化と環境の多様化・複雑化等）のなかにおける組織の意味を探求します。本稿義では、学的知識と実践知の融合を通じて、組織に起因するさまざまな問題を具現化し、より広い文脈からのプロデュース力の習得を目指します。</p>				
<p><講義計画></p> <p>1 週目：講義概要 （講義のねらい, テキスト, 評価方法等）の説明後、本講義の進め方（講義形式, ファシリテーション&ディベート）を体感していただきます。組織論の概観</p> <p>2 週目：組織の定義 Barnard の公式組織を学びます。その後、さまざまな組織を事例に議論します。</p> <p>3 週目：組織の生存条件 組織均衡の理論を通じて、組織の生存条件を学びます。</p> <p>4 週目：組織と環境 環境要因が組織に及ぼす影響と組織の環境対応を学びます。</p> <p>5 週目：組織デザイン（1） 組織形態の基本型からさまざまな組織デザインの有効性を学びます。</p> <p>6 週目：組織デザイン（2） 組織における分業の様々なタイプとそのメリット、デメリットを学びます。</p> <p>7 週目：組織構造 ヒエラルキーのデザインから官僚制組織とフラット型組織について議論します。</p> <p>8 週目：職務設計 科学的管理法から現在にいたるまでの職務設計の変遷を学びます。</p> <p>9 週目：評価システム 様々な評価システム（職能、コンピテンシー、成果等々）を議論します。</p> <p>10 週目：報酬システム 職能資格賃金体系をベースに構築プロセスを講義します。</p> <p>11 週目：組織化理論 Karl E. Weick の組織化理論を社会構成主義の視点から講義します。</p> <p>12 週目：学習する組織 Senge, P. M. の学習する組織や Schamer, C. O. の U 理論の紹介と可能性を議論します。</p> <p>13 週目：戦略的組織革新 戦略的視点から組織イノベーション理論を学びます。</p>				

14 週目：ヒューマン・サービスの組織

ストレスといった視点を取り上げながら議論します。

15 週目：未来志向の組織

少子高齢化が深刻化する我が国における到来する社会から組織論の再構築を試論的に展開します。

<講義の進め方>

講義形式と討議形式（ファシリテーション&ディベート）の両方を取り入れ、可能な限り受講生との双方向なコラボレーションを追求したいと考えています。毎回時間配分は、60 分の講義と 30 分の討議を目安に進める予定です。

<教科書及び教材>

講義資料（テキスト&プレゼン資料）は、学内 SNS に該当講義の 5 日前までにアップします。適宜各自の必要に応じてダウンロードして使用してください。

<参考書>

- ・ 桑田耕太郎・田尾雅夫著『組織論（補訂版）』有斐閣アルマ, 2010.
- ・ 沼上幹著『組織デザイン』日経文庫, 2004.
- ・ 野中郁次郎著『経営管理』日経文庫, 1983.

上記以外にも適宜講義のなかで紹介いたします。

<成績評価方法>

- ・ 欠席 6 回以上は成績評価しない。
- ・ 授業への貢献度：プレゼンテーション：最終レポート＝4：3：3 とします。

<履修条件> 特になし。

<DVD による視聴> 可

<オフィスアワー> e-mail で対応します。

<その他> 特になし。